

平成 30 年度（2018 年度）第 1 学年 4 月入学選抜検査

# 適性検査Ⅱ

平成 30 年（2018 年）2 月 3 日（土）実施

## 注 意

- 1 指示があるまでは、この問題用紙を開いてはいけません。
- 2 問題は 5 ページまであります。
- 3 問題用紙のあいているところは自由に使ってかまいません。ただし、問題用紙にかいたものは採点されません。
- 4 適性検査Ⅱの検査時間は 45 分間です。
- 5 声を出して読んではいけません。
- 6 問題用紙には受検番号と氏名を、解答用紙には受検番号を記入してください。
- 7 問題についての質問は受けません。
- 8 答えを直すときは、きれいに消してから、新しい答えをかきなさい。
- 9 問題用紙を持ち帰ることはできません。解答用紙と<sup>いっしょ</sup>一緒に提出してください。

受検番号

氏名

東京学芸大学附属国際中等教育学校

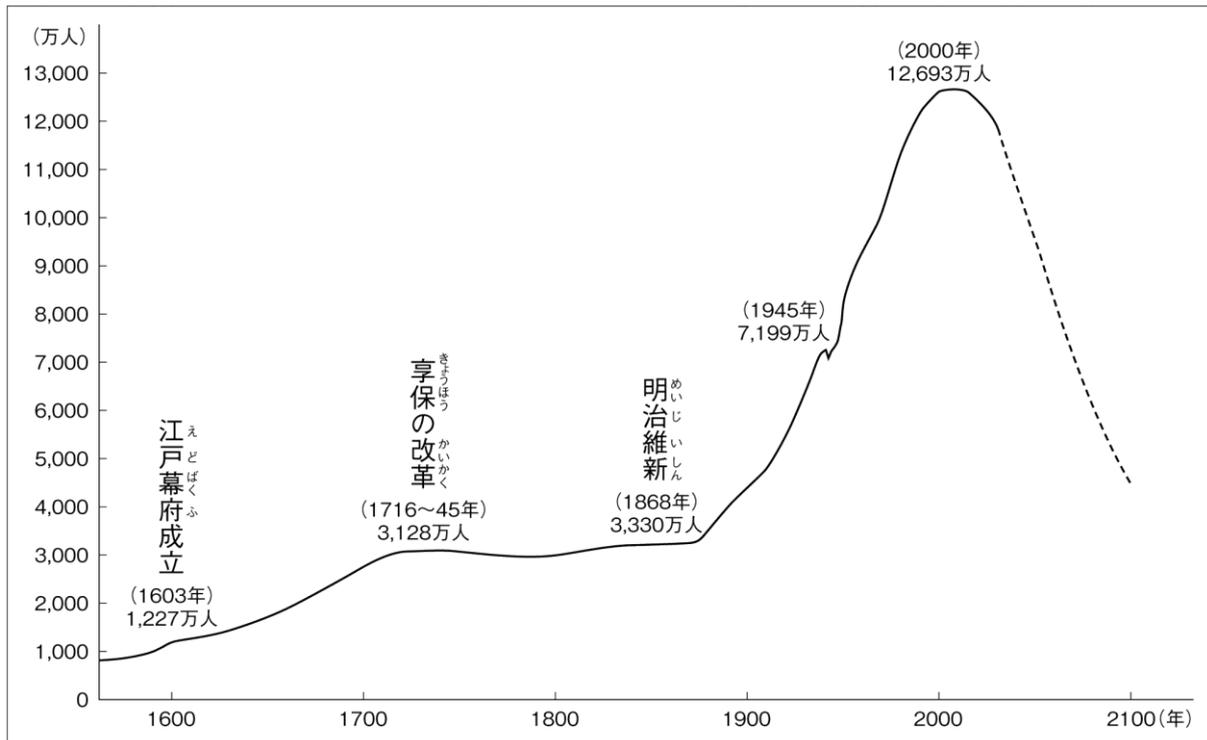
TOKYO GAKUGEI UNIVERSITY INTERNATIONAL SECONDARY SCHOOL



このページに検査問題はありません。

日本社会は今、「少子高齢化」・「人口減少」にともなうさまざまな問題に直面しています。これについて、いくつかの側面から考えてみましょう。

図1は、日本の総人口がどのように推移しているかを、2100年までの予測も含めて示したグラフです。これを見て、あとの問いに答えなさい。



〔図1〕江戸時代以降の日本の総人口の推移

(ひろいよしのり『人口減少社会という希望』朝日新聞出版2013年をもとに問題作成のため一部を改変しています。)

問1 明治維新（1868年）時の人口3,330万人が、1945年には7,199万人と約2.2倍に増加していますが、一方でこの77年の間には、多くの人々の「いのち」を奪うできごとがありました。どのようなできごとか、漢字二文字で答えなさい。

問2 1945年以降、ふたたび日本の人口は増加に転じ、1950年代中ごろから1970年代にかけて日本の経済は急速に発展しましたが、この発展にともなって、人々の健康や「いのち」をおびやかす問題が起きました。どのような問題か、漢字二文字で答えなさい。

問3 図1に関連して、「明治維新以降、日本の人口は急激に増えすぎたのであり、むしろ、適度な人口減少であれば社会にメリットをもたらすのではないか」という見方もあります。適度な人口減少がよい影響をもたらす社会問題にはどのようなものがあるか、理由とともに答えなさい。

問4 「少子高齢化」・「人口減少」がもたらす大きな問題として、国や地方自治体の歳入の減少があります。歳入を増やすためには税収を増やすことが考えられますが、みなさんの身の回りにある税金の名称を一つ漢字で答えなさい。

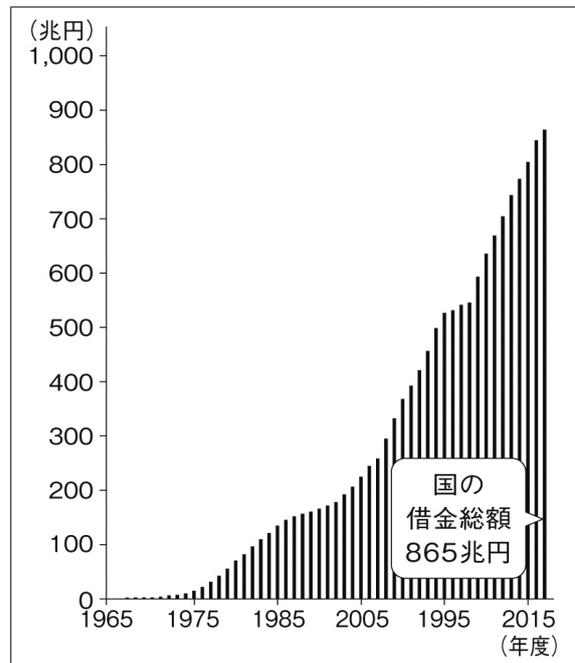
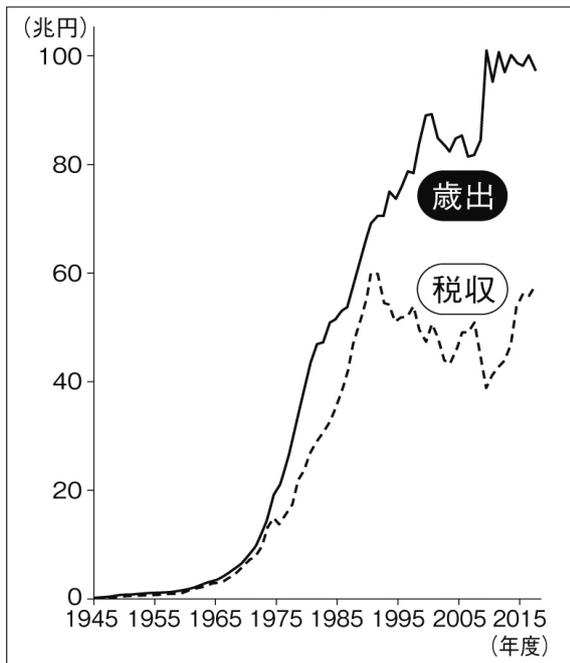
問5 資料1に見られるように、日本の「国の借金総額」は増え続けています。この借金を減らすために、税金で賄<sup>まかな</sup>っている公共サービスの一つである救急車を有料化してはどうかという議論があります。そこで、「救急車を有料化すべきか」というテーマで話し合いを行うことにしました。これに関して(1)～(3)の問いに答えなさい。

【答え方の注意】

資料1から〇〇〇がわかり、または、△△△と読み取ることができることから……等の表現を用い、資料から読み取った内容を簡潔に要約しながら記述することとします。

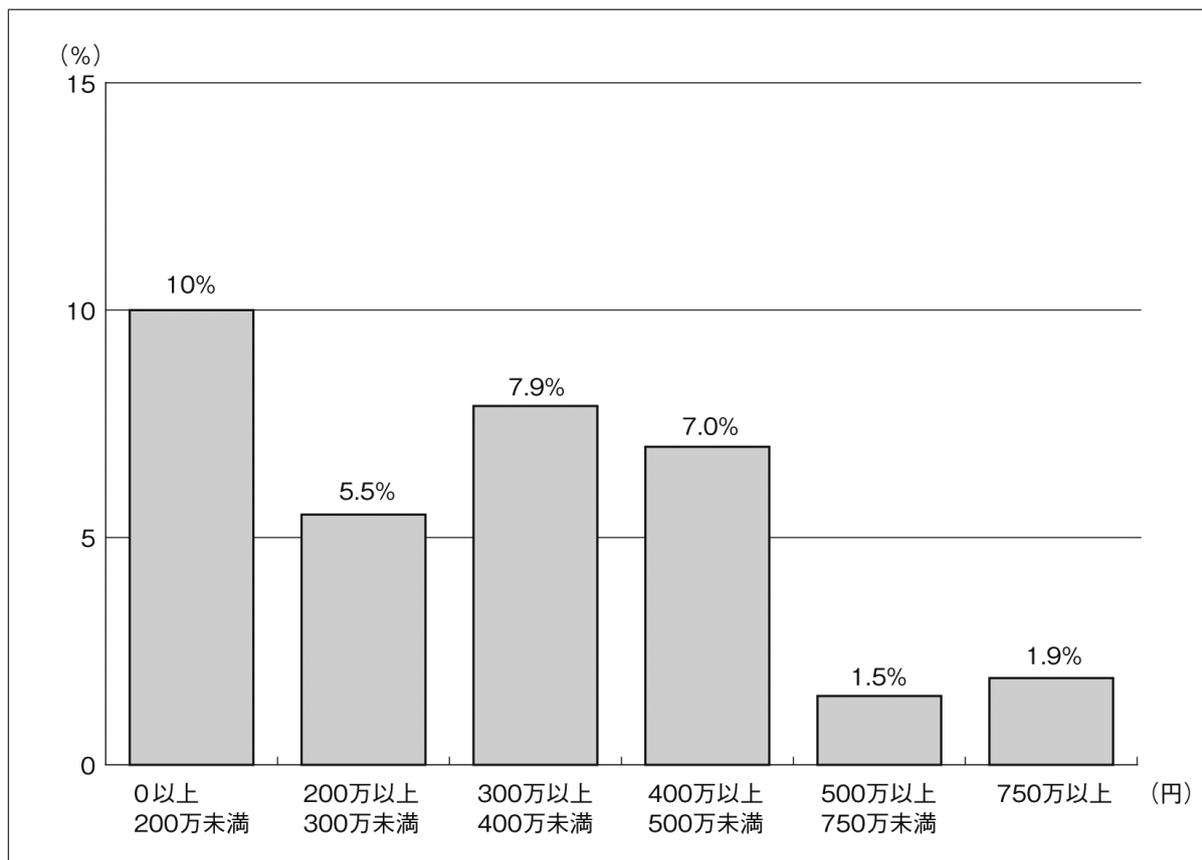
- (1) 「救急車を有料化すべきである」という意見を述べる場合、どのような根拠<sup>こんきよ</sup>や理由が考えられますか。資料1～資料4から一つを使って答えなさい。
- (2) 「救急車を有料化すべきではない」という意見を述べる場合、どのような根拠<sup>こんきよ</sup>や理由が考えられますか。資料1～資料4から一つを使って答えなさい。
- (3) (1)・(2)を踏まえ<sup>ふみまえ</sup>、あなた自身は「救急車を有料化すべきか」について、どのように考えますか。資料1～資料4から二つ以上の資料を使って、あなたの意見を300字以上360字以内で書きなさい。

【資料1】 一般会計の<sup>いっぽん</sup> 歳出<sup>さいしゅつ</sup>・歳入<sup>さいにゅう</sup>・国の借金総額の推移



(財務省内閣官房広報室『財政教育プログラム』2016年をもとに問題作成のため一部を改変しています。)

〔資料2〕 経済的理由で医療機関受診をためらったことのある世帯の割合（年収別）



(全日本民主医療機関連合会「社会と健康」2016年より作成)

〔資料3〕 海外各都市の公的機関による「救急車」の利用料金

都市名	料金形態
ニューヨーク (ニューヨーク消防局)	搬送 (救命士なし) 84,000 円 搬送 (救命士乗車) 143,000 円または 155,000 円 追加料金：病院までの搬送距離 1 km あたり約 1,000 円 (1 ドル=120 円で計算)
パリ (救急機動組織)	搬送 搬送時間 30 分につき 約 43,550 円 ただし、保険加入状況により 35% の負担の場合と負担が発生しない場合がある。 (1 ユーロ=130 円で計算)
シンガポール (シンガポール市民防衛庁)	搬送 約 25,000 円 緊急と判断された場合には無料 (1 シンガポールドル=90 円で計算)

(消防庁「平成 27 年度 救急業務のあり方に関する検討会」より作成)

〔資料4〕なぜ救急の不搬送が増えているのか……

- Q. 救急隊が出動したのに誰も運ばないで帰ることがあるそうですね。
- A. 不搬送と言って、2014年は全国で63万4000件ありました。2005年より5割近く増えて10回出動すれば1回は起きている計算です。
- Q. せっかく救急車を呼んだのにどうしてですか？
- A. 理由は様々です。救急車を待っている間に体調が落ち着いたので辞退したり、路上で倒れている人を見た人が119番して、本人が「寝ていただけ」と断ったりと。2014年はこうした「拒否」が32%、救急隊員の応急手当てだけで済んだ「現場処置」が18%でした。
- Q. なぜ、不搬送が増えているのですか？
- A. 正確にはわかりませんが、高齢化が一因とみられています。出動件数は25年前の2倍で、2014年に搬送された541万人のうち、6割近くが高齢者でした。高齢になると、症状は軽そうでも、重い病気が隠れていることがあります。本人や家族では判断が難しく、心配な時は119番通報を選びがちです。救急隊も確認に行かなければ、緊急かどうか判断しにくいという事情もあります。

(「朝日新聞」2016年9月13日朝刊をもとに問題作成のため一部を改変しています。)

このページに検査問題はありません。

このページに検査問題はありません。



